

(報道発表資料)

2025 年 10 月 2 日

NTT 西日本株式会社

大 分 支 店

親子で楽しく“つながる”通信体験！公衆電話に興味津々 ～ NTT 西日本 大分支店が「サイエンスフェス 2025 in 大分」に出展 ～

NTT 西日本 大分支店（支店長 谷 奈生絵）は、9 月 20 日（土）に開催された「サイエンスフェス 2025 in 大分」にブースを出展しました。今年も公益社団法人 日本公衆電話会 大分県支部（支部長 荒金 一義）と連携し、「知ってる？ いざという時の公衆電話の使い方」をテーマに、親子で楽しみながら学べる体験型ブースを展開しました。

1. 背景・目的

「サイエンスフェス 2025 in 大分」は、2019 年より毎年実施されており、毎年多くの県民が参加する大規模イベントです。また、本イベントは今年で 7 回目を迎え、多くの県内外の企業・団体・学校が参画する事業へと成長し、科学館のない大分県において、大人も子どももサイエンスを知り、体験できる大規模科学イベントとして定着しつつあります。

このイベントに、「電話がつながるしくみ」を来場者へ理解していただく目的で、体験ブースを出展しました。その中で、昨今の大規模自然災害への備えとなる、大切な人とつながる手段として、「公衆電話・災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言板 web171 の使い方」についても多くの方に体験していただきました。

2. 「サイエンスフェス 2025 in 大分」の概要

（1）開催日時

2025 年 9 月 20 日（土） 10 時～17 時

（2）開催場所

J：COMホルトホール大分 （大分市金池南 1 丁目 5-1）

（3）体験ブーステーマ（NTT 西日本 大分支店）

知ってる？ いざという時の“つながる”手段、公衆電話の使い方

（4）NTT 体験ブース内容

・ふうせん電話体験

ふうせんと紙コップを使って、空気の振動で声が伝わるしくみを体験しました。

- ・ 公衆電話の使い方体験
普段使う機会の少ない公衆電話を実際に操作し、緊急時の連絡方法を学びました。
- ・ 災害時の連絡手段体験
「災害用伝言ダイヤル（171）」や「災害用伝言板（web171）」を使って、家族との“つながり”を体験しました。

（５）NTT 体験ブース 体験者数

約 280 組の親子連れ

3. 体験者の声

- ・「公衆電話は見たことはあったが、使ったのは初めて。ふうせん電話も作って、相手の声がよく聞こえて楽しかった」
- ・「伝言ダイヤル 171 を毎月 1 日と 15 日に体験できることが分かったので、家でやってみます」
- ・「糸電話なら学校でやったことがあるけど、ふうせん電話は曲がっていても音が伝わる。空気の振動で声が伝わることを実感しました」
- ・「かわいいふうせん電話を作れてうれしかった」
- ・「公衆電話の使い方がわかって良かった。いざという時にも使えると思います」
- ・「最近の子どもはスマートフォンに慣れていて、受話器をとってから電話することを知らないのが貴重な体験でした」



（当日の体験模様）

4. 今後の展開

今回の出展を通じて、地域の皆さまと“つながる”機会を持つことができ、防災意識の向上や NTT 西日本の取り組みを広く知っていただくきっかけとなりました。引き続き、NTT 西日本 大分支店は、さまざまな活動を通じて通信の“つなぐ”、“守る”という使命を果たし、地域の皆さまから信頼され続けるよう取り組んでまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご承知いただくとともに、ご注意をお願いいたします